



市民が肝臓がんについて理解を深めたセミナー

室蘭市知利別町の製鉄
記念室蘭病院の「第26回
た。
(柴田圭介)

まず血液検査を

製鉄室蘭病院 肝臓がんセミナー

市民ら80人 知識深める

がんセミナー」が7月31日、同病院1階フウンジで開かれ、訪れた市民ら約80人が肝臓がんについて知識を深めた。

同病院の藤井重之消化器内科科長が講話を行った。「B型肝炎やC型肝炎にかかっている人が肝臓がんになりやすい。肝臓がんは肺がん、胃がん、大腸がんに続き4番目に多く、年間3万人が亡くなっています」と注意を促した。「大切なことは肝炎に感染しているかを知ること。血液検査で分かるので検査を受けてほしい」との言葉に参加者らは何度もうなずいていた。

質問タイムに移り、参加者らは「B型肝炎の再活性化が昔、問題になっていたが現在はどうなのか」「肝臓がんになった場合、自覚症状は出るのか」などと熱心に尋ねていた。